

令和2年度（2020年度）

## 中津市立三郷小学校

# 学校運営方針

### 【基本方針】

- 学校をとりまく地域の特性や、実態を多面的に把握・理解し、総合的に「学校」「家庭」「地域・行政」と連携しながら教育活動を行う。
- 児童の学びの保障・多様なものの見方・考え方の習得を目指し、社会の変化に柔軟に対応できる能力・未知の課題に立ち向かう意欲と態度を育成する。



### 【目指す学校像】

- 共に学び、共に磨き合う学校（切磋琢磨、学びに向かう力を育む）
- よりよい生活を求め続ける学校（安心、安全、健康、あいさつ、マナー）
- 自他を尊重し、多様な考え方を尊重する学校（自他の尊重、多面的・多角的な思考力の育成）
- 自ら考え、学び続ける学校（自主性、継続性）
- 地域・社会に開かれた学校（家庭・地域・行政との連携、地域人材の活用）
- 組織的な取組を実践する学校（短期の検証・改善、チーム三郷）
- 郷土を愛し、平和と平等を願う学校（郷土愛、地域の自然・環境、平和と平等を学ぶ）

### 【目指す児童像】

- 前向きに頑張る児童（学びに向かう力、発信力、表現力）
- 自分と周りの人を大切にする児童（自他の尊重、安心、安全、健康、あいさつ、マナー）
- 自ら考え、学び続ける児童（知識・技能、多面的・多角的な思考力・判断力、自主性、継続性）
- 郷土を愛し、平和と平等を願う児童（郷土愛、地域の自然・環境愛護、）

### 【目指す教師像】

- 児童を中心に据えて、組織的に教育活動に尽力する教師（児童ファースト、チーム三郷）
- 児童の思いによりそい、共感的な人間関係を構築できる教師（自他の尊重、受容、安心、安全）
- 児童に確かな力を身につけさせる教師  
(知識・技能、思考力・判断力、表現力、学びに向かう力)
- 平和と平等を願い、信頼される教師（人権尊重、平和と平等の尊重）

【育成を目指す資質・能力】

○深く考える力

○思いを発信し、行動する能力

【学校の教育目標】

身につけた「力」を活かし「深く考え」

意欲を高めて「挑戦」する 三郷っ子

【本年度の重点】

キーワード

# 挑戦 CHALLENGE

## 1. 授業改善の推進

- ・新大分スタンダードに基づく「わかる授業」を実践し、基礎・基本の定着を図る。  
(ユニバーサルデザインの視点・合理的配慮・インクルーシブ教育の充実)
- ・ICT・思考ツール等を授業で活用し、深く考える場の設定することで、活用力の向上を図る
- ・児童が積極的に参加したくなる授業展開を図る(主体的・対話的な授業づくり)
- ・意思や考えを発信できる対話力(言語能力・コミュニケーション能力)の育成

## 2. 安心・安全な学校づくり及び、児童の健康増進・体力向上に努める

- ・生徒指導の三機能(自己決定・共感・自己存在感)を意識した、いじめを許さない体制の強化
- ・保健室の機能を有効に活用した生活指導・相談活動の充実(カウンセリングマインド)
- ・児童の安全な学校生活に向けた環境と体制づくり(危機管理意識の保持)
- ・歯磨き指導とフッ化物洗口による虫歯予防の推進
- ・食育(栄養)指導の推進
- ・森林体験学習と防災教育の推進

## 3. 中学校・家庭・地域・行政と連携した学校づくりの推進

- ・小中9年間を意識した学習・生活における、組織的な小中連携強化  
(三郷小―山国中「チームやまくに」の推進)
- ・家庭学習や就寝時刻の徹底など、基本的な生活習慣の定着に向けた家庭との連携
- ・開かれた学校づくりに向けた地域との連携(地域人材マップの整備)
- ・学校運営協議会(コミュニティー・スクール)の仕組みに基づいた、中学校及び地域との連携

## 4. 教育水準の向上を意識した、組織的、効果的、効率的な組織体制の構築と推進

- ・「チーム三郷」を意識し、目標達成に向けた強い教師集団の構築
- ・学校評価の4点セットにおける検証(Check)・改善(Action)による効果的な指導の推進
- ・「働き方改革」を踏まえた、検証・改善による実効性のある取組の推進(スクラップ&ビルド)
- ・交換授業・教科担任制の導入による、学年横断的な指導体制と、「1+α」で組織力の向上を図る  
(学校全体を意識した業務の推進と学年を超えた取組の相互補完)